

卷末資料 2 仮説とアンケート質問の対応表

	仮説	調査票設問番号と検証方法
職業訓練各課程において必要とされるDX関連技術の明確化	1. 求職者を対象とした職業訓練コースで必要とされるDX関連技術は〇〇ではないか。(つまり、こういう人材であれば欲しい、という視点)	問7-2 企業の採用時に求めるDXに関する能力・スキルのニーズについてのデータを収集し、業種ごとでクロス集計し、全体と業種ごとの傾向を導き出す。
	2. 在職者を対象とした職業訓練コースで必要とされるDX関連技術は〇〇ではないか。(つまり、こういう要素が自社には足りない、という視点)	問7-2 企業が社員に身に付けさせたい能力・スキルのニーズについてのデータを収集、業種ごとでクロス集計し、全体と業種ごとの傾向を導き出す。
	3. 必要とされるDX関連技術は、デジタルスキル標準、DXリテラシー標準(経済産業省)で整理されたものを中心とすべきではないか。	問4-1、4-2 経営者層、DX推進者、全社員の区別をして、デジタルスキル標準において求められる項目ごとにどの程度、意識、知識、技術が身につけられているかについてデータを収集し、業種ごとで、デジタルスキル標準の浸透の度合いを確認し、出来ている項目、出来ていない項目ごとに、どのような対応が必要かについて整理する。
	4. ものづくり関連企業(製造業、建設業)が取り組んでいるDXに係る関連分野は〇〇ではないか。	問5群 企業が導入しているデジタル技術についてデータを収集し、業種ごとにクロス集計し、業種ごとで導入が進んでいる技術を特定する。
	5. ものづくり関連企業(製造業、建設業)がDXに取り組むうえでの障害のひとつに、人材育成があるのではないか。または、DX人材の採用(確保)の難しさがあるのではないか。	問3 DX推進における、人材育成等の課題についてのデータを収集し、業種ごとでクロス集計し、人材育成等の課題の重要度の違いを確認する。
職業訓練の専門系に必要とされるDX関連技術と指導員研修の検討	1. 指導員の業務に鑑みて、 <u>指導員に必要とされるDX関連技術(専門系)</u> は〇〇ではないか。	問5群、問6群 企業が導入しているデジタル技術、導入に関心のあるDX技術についてのデータを収集し、業種ごとのクロス集計などで分析し、指導員に必要となるであろう技術を検討する。
	2. 指導員は、デジタル社会に貢献できる職業訓練(多様な業務)を行うため、今後、 <u>〇〇の能力</u> を習得すべきではないか。	問6-5、問6-6 将来的なDXのニーズについての回答を得て、将来必要とされるであろう訓練内容を検討する。
	3. DXについて指導員が対応する業務について、指導業務以外の指導員業務(顧客に対する人材育成支援や技術支援、訓練コースのコーディネート等、職業訓練サービス等)に対する期待も大きいのではないか。	問9 指導業務以外の顧客に対する人材育成支援や技術支援、訓練コースのコーディネート等、能力開発支援サービス等についてニーズがあるかデータを集めて、業種ごとでクロス集計し、傾向を確認する。
	4. 指導員が習得すべきDX関連技術は、利活用法の習得を中心としたものとすべきではないか。	問5群、問6群 企業側のデジタル技術の利用、開発の状況のデータを収集し、検証する。

	仮説	調査票設問番号と検証方法
DX関連技術等に対応する指導員研修の体系整備	1. 既存の研修体系を新たにDXに対応した研修体系に改編することで、効果的な指導員研修の実施が可能となるのではないか。	問2-1 DX推進について、近い将来(3年から5年)の目標としてどのような水準に到達していきたいかを質問し、目標とする水準の分布から将来的なDX関連の人材育成ニーズを推定する。 問5群、問6群 特定のデジタル技術とDX導入により解決される課題を例示し、それに対する関心やその導入状況、将来導入したいDX関連技術についての回答を得て検証する。
	2. 新たな研修体系は、各系に分類された体系ではなく、DXの視点で新たに体系化すべきではないか。	問7群、問8群 人材ニーズと、人材育成ニーズのデータにより検証する。
	3. 新たな研修体系は、専門系の技術要素のみならず、DXマインド・スタンスに関する要素も含めるべきではないか。	問4-1、4-2 企業のDXマインド・スタンスについてのデータを収集、業種ごとで集計し、傾向を確認する。
	4. 常に新たな技術に対応する職業訓練とするため(つまり、指導員が常に最新のDX技術を学ぶ、あるいは情報収集するため)、その指導員研修体系は、これまでの固定されたものではなく、常に改編し得るフレキシブルな体系とすべきではないか。	問9-1 今後の経営・市場環境についての認識と、今後必要とされる職業訓練に関して質問し、どのような訓練内容のニーズがあるかについての回答を得て検証する。
	5. 職業訓練は、DXによる産業界の変革に沿って新たな訓練コースを開発すべきではないか。	問9-1 今後の経営・市場環境についての認識と、今後必要とされる職業訓練に関して質問し、どのような訓練内容のニーズがあるかについての回答を得て検証する。
	6. 職業訓練の役割として、DX関連技術のみならず、ものづくりの基盤技術(汎用旋盤等、熟達求められる技術)もこれまで同様担うべきではないか。	問9-2 ものづくりの基盤技術の訓練がどのような方向性で提供されるべきかについての回答を得て検証する。
	7. 職業訓練コースは、全てをDX対応とするのではなく、公共職業訓練の役割を踏まえ、これまでの基盤ものづくり系のコースもしっかりと行っていく必要があるのではないか。	問9-2 ものづくりの基盤技術の訓練がどのような方向性で提供されるべきかについての回答を得て検証する。